

Banco Sumitomo Mitsui Brasileiro S.A. DAILY MARKET REPORT

BANCO SUMITOMO MITSUI
BRASILEIRO S.A.

Treasury Department

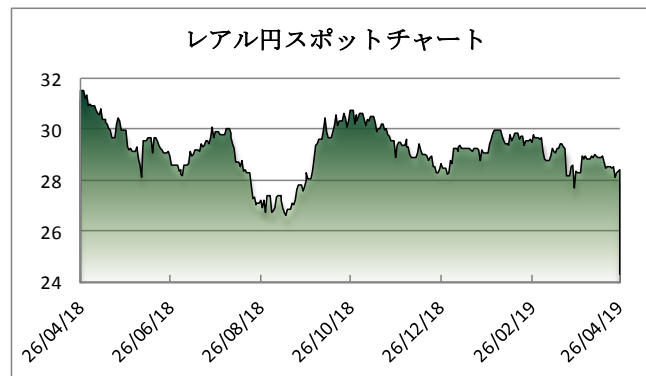
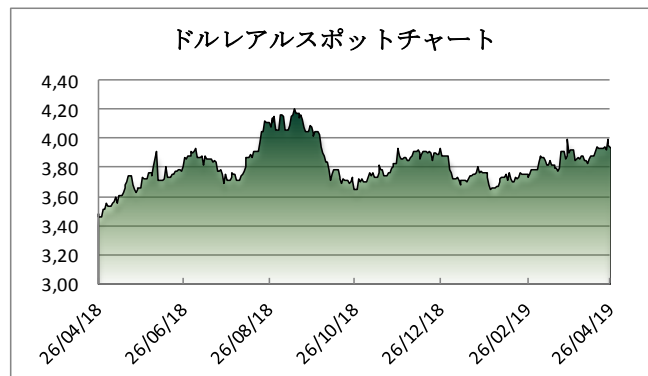
マーケットサマリー

先週末のドルレアルスポット相場は、取引開始直後こそレアル売りで反応したものの、想定よりも早く特別委員会が開催され、年金改革法案の具体的変更案が明らかになるとの期待から引けにかけては反発し、3.93台前半で取引を終えている。年金法案に関する政権内の軋轢が再びリスク要因として意識されているが、地元の複数紙は、この週末に、「Bolsonaro大統領とLorenzoni官房長官、Maia下院議長が会談を行った」、「良好な関係を構築できた」と楽観的に報じている(同官房長官は、「法案について様々な見方が観測されているが、それでもなお、法案は6月末までに下院で承認されると信じている」と発言している)。一方、Valor紙は同下院議長の発言として、「政権は依然として承認に必要な支持を獲得できていない」と慎重な見方にあることを紹介しており、今後の進展を巡って情報が錯綜している状況。いずれにしても、当面のブラジルマーケットは年金法案次第であることに変わりはなく、投資家(特に海外投資家)は、特別委員会で何が変わり、原案の何が維持されるのかが明確になるまでは、ポジションを傾けることができないと予想される。目先は、3.94台を挟んで方向感のない展開が続く公算。その他、主要な要人発言としては、Roberto Campos中銀総裁が、為替相場への介入手段として外貨準備の活用を否定した他、中銀の目標はあくまでインフレ率のコントロールであることを明言(足許のインフレ率は目標値近辺で推移しており、期待も適切に抑制されている)。また、Guedes経済相は、リオデジャネイロで行ったアルゼンチンのNicolas Dujovne経済相との面談で、「両国の関係性は貿易関係を越えたものである」、「関税の削減についても今後検討する予定である」と語っている。

マーケットデータ

Indicator		Unit	4月25日	4月26日	前日比	1ヶ月前比	(年初来) 高値	(年初来) 安値
レアル	対ドル	BRL	3,9501	3,9315	-0,47%	1,45%	3,6374	4,0158
	対円	JPY	28,25	28,37	0,42%	-0,62%	30,08	27,53
	対ユーロ	BRL	4,3995	4,3849	-0,33%	0,41%	4,1646	4,5069
円	対ドル	JPY	111,63	111,58	-0,04%	0,85%	104,87	112,40
	対ユーロ	JPY	124,36	124,46	0,08%	-0,14%	118,71	127,50
Bovespa (ブラジル株価指数)		Index	96.552	96.236	-0,33%	0,97%	100.439	87.536
CDS Brazil 5yrs		bps	176,80	175,73	-0,61%	0,83%	209,52	149,43
Brazil 10yrs Gov. Bond		%	8,95	8,96	0,11%	-0,99%	9,34	8,70
DI Future Jan20 (金利先物)		%	6,46	6,49	0,39%	0,31%	6,69	6,32
3 Months US Dollar Libor		%	2,58238	2,58275	0,01%	-0,56%	2,8039	2,5803
CRB Index (国際商品指数)		Index	185,96	184,66	-0,70%	-0,31%	189,68	168,26

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。



<オンブスマン連絡先: 0800 722 2762>

本レポートは情報の提供を目的としており、何らかの行動を喚起するものではありません。ここに示した意見は本レポート作成現在の筆者の意見を示すのみです。データや数値の抽出範囲・基準は任意で設定している場合があります。データ・資料等については、数値等の誤りが含まれている可能性があります。本レポートに基づき、お客様が投資のご判断をされた結果生じた損害・損失については当行は一切責任を負いません。投資や資金運用に関する最終決定は、お客様ご自身で判断されるようお願い申し上げます。本レポートの全部または一部の無断コピー・転載はご遠慮頂きますようお願い申し上げます。